

## 令和5年度 活動報告

総会1回(5月26日)、講演会1回(5月26日)、ショートコース1回(10月25日)、シンポジウム1回(10月26日-27日)、研究会1回(1月26日)、Web機関紙発行2回(8月15日、2月15日)、Web論文誌発行1回(12月15日)、正会員(団体)会員限定見学会(4月27日、11月2日)、若手部会WG主催JEMEAサマースクール1回(8月31日-9月1日)、学術基礎WG Web討議会(7月21日、9月15日、11月17日、1月19日、3月15日)、分子モデリングが拓く電磁波エネルギー研究・開発ワーキンググループワークショップ(10月26日-27日)、生体影響と安全利用WG共催行事(10月25日、1月26日)、渉外活動WG主催 女子中高生支援活動0回・保護者対象講座0回、ワークショップ開催0回、安全・技術講習セミナー0回、マイクロ波技術研修0回、国際会議0回、協賛6件、後援1件、共催0件

2023年(令和5年)4月3日(月)

当学会のインボイス制度についての方針/適格請求書発行事業者登録番号ホームページで公開

2023年(令和5年)4月27日(木)

正会員(団体)会員限定 見学会

於：株式会社武蔵野様 群馬フローズンファクトリー

プログラム：冷凍食品工場への見学と座談会

2023年(令和5年)5月12日(月)

特定非営利活動法人日本電磁波エネルギー応用学会 令和4年度第9回理事会

場所：オンライン

2023年(令和5年)5月15日(月)

【第5回JEMEA学会賞】受賞者発表

受賞者：杉山 順一 氏(国立研究開発法人 産業技術総合研究所)

業績タイトル：「電磁気学との融合に立脚したマイクロ波化学の実践」

“Practice of Microwave Chemistry Based on Integration with Electromagnetics”

【第1回JEMEA学術功績賞】受賞者発表

受賞者：佐藤 元泰 氏(JEMEA顧問/中部大学)

業績タイトル：「マイクロ波基礎とマイクロ波工業応用技術の展開」

“Studies on Thermodynamic Aspect on Microwave Fundamentals and Industrial Applications of Technology”

【第1回JEMEA功労賞】受賞者発表

受賞者：加藤 俊作 氏(JEMEA顧問/NPO法人明日に架ける橋)

四国計測工業株式会社(C0701011)：前川 浩司 氏、曾我 博文 氏、國井 勝之 氏

業績タイトル：「JEMEA における加藤俊作氏/四国計測工業株式会社の貢献」  
“Contribution to JEMEA Activities by Collaboration between Dr. Shunsaku Kato and Shikoku  
Instrumentation Co., Ltd.”

2023 年（令和 5 年）5 月 19 日(金)

会議名称：「Microwave Workshops & Exhibition 2023(WE2023) 」 協賛承諾  
開催日時： 2023 年 11 月 29 日(水)～12 月 1 日(金)  
開催場所： パシフィコ横浜  
主催団体：一般社団法人 電子情報通信学会 APMC 国内委員会

2023 年（令和 5 年）5 月 26 日（金）

特定非営利活動法人日本電磁波エネルギー応用学会令和 4 年度定期総会  
場所：オンライン

2023 年（令和 5 年）3 月 31 日の会員数（3/31 付退会希望者を除いた人数）  
正会員（個人）：140 名、正会員（団体）23 社(27 口)、学生 16 名 合計 179 名

令和 4 年度定期総会時点の会員数  
正会員（個人）： 139 名、正会員（団体）26 社(30 口)、学生 15 名 合計 180 名

総会出席者 総会本人出席 37 名、委任状 61 名=98 名

定足数 93 を上回り総会が成立(メールで連絡が取れない人を除いて定足数算出)

総会出席者 総会本人出席 35 名、委任状 71 名=106 名

定足数 89 を 17 票上回り総会が成立 (5 月 26 日最終)

2023 年（令和 5 年）5 月 26 日（金）

第 14 回 日本電磁波エネルギー応用学会 講演会  
- マイクロ波による CVD 技術 人工ダイヤモンドの展望 -  
協賛：IEEE MTT-S Japan/Kansai/Nagoya Chapter/ 公益社団法人 応用物理学会/  
公益社団法人日本化学会/ 一般社団法人 表面技術協会/  
場所： オンライン  
出席者： 講演会参加者：42 名-うち非会員 12 名(うち、協賛団体会員 2 名)

プログラム（講師 敬称略）

「マイクロ波プラズマ CVD によるダイヤモンドの作製」

“Preparation of diamond using microwave plasma CVD”

講師 1 坂本幸弘 氏（千葉工業大学）

”Cultivating MPCVD Diamond by an Innovative Structure Design with Power Combination of Two Microwave Sources”

講師 2 Bob, H. Y. Chen General Manager（Wave Power Technology Inc.）

「半導体デバイス用単結晶ダイヤモンド合成装置」

“Single-crystal diamond synthesis equipment for semiconductor devices”

講師 3 小島 芳恭（アリオス株式会社）

「マイクロ波インピーダンス測定法による非接触プラズマリアルタイムモニタリング」

“Real-time non-contact plasma monitoring by microwave impedance measurement.”

講師 4 草場 康太（日本高周波株式会社）

「世界で1つのオリジナルダイヤモンド」

“Custom – made diamond, only one in the world”

講師 5 曳地 智/今宮麻衣（株式会社ココディアジャパン）

2023 年（令和 5 年）5 月 30 日（火）

法人税納税

2023（令和 5 年）6 月 1 日（火）

特定非営利活動法人日本電磁波エネルギー応用学会令和 5 年度第 1 回理事会

場所：オンライン

理事長再任：堀越 智 氏（上智大学）

副理事長再任：桑原 なぎさ 氏（パナソニック株）

三谷 友彦 氏（京都大学）

2023 年（令和 5 年）6 月 5 日（月）

会議名称：ISPlasma2024 /IC-PLANTS2024/APSPT-13 後援承諾

開催日時：2024 年 3 月 3（日）～3 月 7 日（木）

開催場所：名古屋大学

主催団体：公益社団法人 応用物理学会

2023年（令和5年）6月29日(木)

東京都庁（新宿）に令和4年度事業報告書（6種類★）、「役員変更等届出書」  
「定款変更認証申請書」提出

★1.事業報告書 2.財産目録 3.貸借対照表 4.活動計算書 5.役員名簿及び名簿のうち報酬を受けたことがある者の名簿 6.社員のうち10人以上の者の名簿

2023年（令和5年）7月6日(木) 所得税納税

2023年（令和5年）7月6日(木)労働保険令和5年度手続きおよび納税

2023年（令和5年）7月12日(水)

特定非営利活動法人日本電磁波エネルギー応用学会 令和5年度第2回理事会

2023年（令和5年）7月21日(金)学術基礎ワーキンググループ 第1回WEB討議（参加者16人）

【課題1：運動の表記】（マイクロ波加熱と伝熱加熱はどのように異なるか）

【課題2：誘電率測定】（厳密解と近似解はどれだけ差があるか）

【課題3：熱力学解析】（数式で表現する「非熱効果」をどう解釈すべきか）

2023年（令和5年）8月3日(木)

会議名称：カーボンニュートラル支援講座（電気加熱編）「やさしい電気加熱技術教室」協賛承諾

開催日時：令和5年9月7日（水）

開催場所：オンライン（Zoom ウェビナー）

主催団体：一般社団法人日本エレクトロヒートセンター（JEHC）

2023年（令和5年）8月7日(月)

会議名称：第18回エレクトロヒートシンポジウム 協賛承諾

開催日時：令和5年11月1日（水）-11月30日（木）

開催場所：オンライン（第18回エレクトロヒートシンポジウム特設サイト）

主催団体：一般社団法人日本エレクトロヒートセンター（JEHC）

2023年（令和5年）8月10日(木)

会議名称：「マイクロ波とカーボンニュートラル」ワークショップ」協賛承諾

開催日時：2023年10月14日(土) 13:00~17:15

開催場所：立命館大学朱雀キャンパス多目的室（ZoomによるWeb参加も可）

主催団体：IEEE MTT-S Kansai Chapter

2023年（令和5年）8月15日(火)

編集委員会より「JEMEA Web機関紙第8巻第2号(発行から1年JEMEA会員限定)」JEMEAホームページ およびJ-STAGEで発表

2023年（令和5年）8月25日(金)

2023年5月26日の総会決議事項に基づき、6月29日「定款変更認証申請」を東京都庁に行い、審査を経て8月25日に承認される。（改訂は18条）

2023年（令和5年）8月31日(木)-9月1日(金) 第6回JEMEA若手サマースクール

「マイクロ波化学入門講座」

開催場所：福岡国際会議場、九州大学 共進化社会システムイノベーションセンターホール

【参加人数と内訳】

参加人数52名（講師8名含む）社会人29名、学生23名

JEMEA会員 26名、非会員（一般）8名（4名協賛団体会員）、非会員（学生）18名

【プログラム】

●8月31日(木) 福岡国際会議場13:00-17:00

13:00-17:00 講義 5件（45分×5）

17:00-19:00 学生ポスター発表・交流会

19:30- 懇親会

●9月1日(金) 九州大学 共進化社会システムイノベーションセンター ホール

9:30-12:00 講義 3件（45分×3）

閉会式

午後ラボツアー（希望者）

【講師】

マイクロ波化学入門	堀越 智 先生	(上智大学)
マイクロ波工学（計測）	二川 佳央 先生	(国土館大学)
マイクロ波工学（装置）	三谷 友彦 先生	(京都大学)
高分子化学	池永 和敏 先生	(崇城大学) オンライン
触媒化学	永長 久寛 先生	(九州大学)
生命科学	大内 将吉 先生	(九州工業大)
材料化学	大野 光一郎 先生	(九州大学)
化学工学	アルマンド キタイン 先生	(熊本大学)

## 【ラボツアー】

2023年（令和5年）9月1日(金) 午後（希望者）

ラボツアー先：九州大学大学院工学研究院 大野研・農学研究院 マイクロ波装置  
酒蔵ツアー

2023年（令和5年）9月15日(金) 学術基礎ワーキンググループ 第2回WEB討議（参加者16人）

【課題1：運動の表記】 偏角の計算例

【課題2：誘電率測定】 屈折率について

【課題3：熱力学解析】 仮定に従った結果の予測

2023年（令和5年）9月25日（月）

会議名称： 「第509回 生存圏シンポジウム

第19回 持続的生存圏創成のためのエネルギー循環シンポジウム – マイクロ波高度利用と先端分析化学 –

第13回先進素材開発解析システム(ADAM)シンポジウム

– マイクロ波高度利用生存圏フラッグシップ共同研究 –」 協賛承諾

開催日時 2023年10月31日 14時～17時

会場名 京都大学宇治キャンパス木質ホール3階大会議室（ZoomによるWeb参加も可）

主催団体：京都大学 生存圏研究所

2023年（令和5年）10月25日(水)

特定非営利活動法人日本電磁波エネルギー応用学会 令和5年度第3回理事会

開催場所：北九州国際会議場

2023年（令和5年）10月25日(水)-10月27日（金）

「第17回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム(Sympo2023(オンライン))

– 持続可能な開発目標ための最先端電磁波エネルギー利用技術を展望する国際シンポジウム –」

開催場所：北九州国際会議場

## 1.10/25-27の参加者全体についてのご報告

●のべ参加人数 247名（シンポジウム137名、ショートコース42名、懇親会68名）

●参加総数 144名（うちJEMEA非会員40名）

内訳

シンポジウム参加 137名

ショートコースのみ参加7名

懇親会のみ参加 0名

合計 144名

業界別内訳

産業界 67名

官界 9名

学界 68名

=====

合計 144名

海外からの参加者：2か国2名（イギリス、中国）

## 2. 10/25(水) 『2023年度ショートコース』

1. 電磁波エネルギー利用技術と、その生体影響を考える
2. 九州から電磁波技術を“発振”する

【開催場所】【北九州国際会議場】 2F国際会議室

【2023年度ショートコースのHP <https://www.jemea.org/?p=57207>

出席者：42人（内訳：JEMEA会員33名、非会員9名（講師3名含む））

当日のプログラム

1. 電磁波エネルギー利用技術と、その生体影響を考える Part1

「マイクロ波加熱の新たな展望」小池誠氏(弁理士、小池誠マイクロ波研究所、マイクロ特許事務所)

「マイクロ波の漏洩基準と対策」仙田和章氏(富士電波工機株式会社)

2. 九州から電磁波技術を“発振”する

「電磁波を使用するレーダー式レベル計の解説と最新技術動向」山本弘尚氏  
(株式会社 マツシマ メジャテック)

「高周波誘導加熱による溶接歪の矯正」川口千恵子氏(熱産ヒート株式会社)

「病院・介護施設向けマイクロ波再加熱カートの開発・販売」中島弘喜氏(株式会社 中島製作所)

1. 電磁波エネルギー利用技術と、その生体影響を考えるPart2

「ナノバイオ分野におけるマイクロ波の影響研究～ミネラルゼーションおよび細胞膜透過を例として～」

前半：栢森史浩氏/後半：臼井健二氏(甲南大学)

「本邦で保険収載されているがんに対する電磁波温熱療法の現状と展望」

大栗隆行氏(産業医科大学)

以上依頼講演の講師8名よりご講演をいただいた。このセミナーは、当学会の「生体影響とマイクロ波安全利用ワーキング」との共催による、マイクロ波の安全利用についてのパートと、九州のマイクロ波ユーザーの方から貴重なご報告をお伺いするパートに分かれてご来場者の方に情報提供を行った。

### 3. 10/26(木)-27(金)シンポジウム

「第17回日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム-持続可能な開発目標ための最先端電磁波エネルギー利用技術を展望する国際シンポジウム-Sympo2023(小倉)」

【開催場所】 【北九州国際会議場】 2F国際会議室/21会議室/3F 32会議室

【Sympo2023(小倉)のHP】 <https://www.jemea.org/?p=55591>

【Sympo2023(小倉)プログラム最終版】

[https://www.jemea.org/wp-content/uploads/2023/05/The-17th-JEMEA-Symposium-Program-Digest\\_V3\\_.pdf](https://www.jemea.org/wp-content/uploads/2023/05/The-17th-JEMEA-Symposium-Program-Digest_V3_.pdf)

【26日(木)-27日(金) 口頭発表プログラム-座長入り】

[https://www.jemea.org/wp-content/uploads/2023/05/%E3%80%90With-Chair%E3%80%91Sympo2023-Oral-program\\_PM0240-.pdf](https://www.jemea.org/wp-content/uploads/2023/05/%E3%80%90With-Chair%E3%80%91Sympo2023-Oral-program_PM0240-.pdf)

【10/26(木) ポスタープログラム】

[https://www.jemea.org/wp-content/uploads/2023/09/2023\\_%EF%BC%99\\_5\\_AM11-Sympo2023-Poster-program-1of2-on-Oct-26-.pdf](https://www.jemea.org/wp-content/uploads/2023/09/2023_%EF%BC%99_5_AM11-Sympo2023-Poster-program-1of2-on-Oct-26-.pdf)

【10/27(金) ポスタープログラム】

[https://www.jemea.org/wp-content/uploads/2023/05/2023\\_10\\_18\\_Sympo2023-Poster-program-2of2-on-Oct\\_27-1.pdf](https://www.jemea.org/wp-content/uploads/2023/05/2023_10_18_Sympo2023-Poster-program-2of2-on-Oct_27-1.pdf)

出席者:137名 (内訳:JEMEA会員101名・非会員36名 (うち講師2名))

発表件数：76

(内訳)

特別講演 (R024-JEMEA特別講演)： 2

一般口頭発表：48

ポスター発表：21

企業発表：3

JEMEA学会賞/学術功績賞受賞記念講演：2

26日PMにはR024-JEMEA特別講演が行われ、海外からお招きした講師2名の講演を行った。

“Microwave Heating in Heterogeneous Catalysis”

○Daniel R Slocombe (Cardiff University, United Kingdom)

“Microwave-Driven chemical engineering technology-full of breakthrough opportunities in electrified chemical processes”

○Xin Gao, Zhenyu Zhao, Kai Liu, Hong Li ( Tianjin University (天津大学) )

27日AMには、「JEMEA学会賞」受賞記念講演を受賞者、杉山順一様（産業技術総合研究所）、  
「JEMEA学術功績賞」受賞者 佐藤元泰先生（中部大学）（樫村京一郎先生の代講）より行っていただいた。

第1回JEMEA功労賞受賞者の加藤俊作様のご講演が諸事情で行えなかったので、共同受賞の  
四国計測工業株式会社 曾我博文様に表彰状を贈呈。

26日、27日には、口頭・ポスター、機器展示出展企業様の発表を2日間にわたり行っていただき  
発表と活発な質疑応答が繰り広げられた。ポスター発表は、今年も発表者1名3分のショート  
プレゼンテーションを行っていただいたのち27日にポスターセッションを1時間半にわたり行っ  
た。

#### 4. 企業機器展示/広告出稿企業様

★マークは機器展示出展企業3社 ○マークは広告出稿企業1社  
(社名50音順)

【★安立計器株式会社】 <https://www.anritsu-meter.co.jp/index.html>

【★エム・アールエフ株式会社】 <https://www.mrf.co.jp/>

【★株式会社M3研究所/WAVE FUNCTION】 <https://www.m3lab.jp/>

【○マイルストーンゼネラル株式会社】 <https://www.milestone-general.com/>

#### 5.懇親会開催報告

10/26(木) 於：北九州国際会議場 2F Sea Lounge

出席者68名(内訳:会員60名・非会員8)

#### 6. エクスカーション開催報告

10/28(土)北九州観光コンベンション協会様のご協力により、JEMEAで初めての「エクスカーション」を開催。シンポジウム参加者から12人の登録。北九州市の門司港地区、関門海峡などの絶景ポイント、橋を渡って下関側で赤間神社、功山寺をめぐり、最後は小倉城を見学、参加者同士の交流を図った。【10/28(土)エクスカーションパンフレット】

[https://www.jemea.org/wp-content/uploads/2023/07/Sympo2023-Excursion-Plan\\_V3.pdf](https://www.jemea.org/wp-content/uploads/2023/07/Sympo2023-Excursion-Plan_V3.pdf)

2023年（令和5年）11月2日（木）

正会員（団体）会員限定 見学会

於：三菱電機株式会社様の情報技術総合研究所（神奈川県鎌倉市

「マイクロ波半導体発振器および周辺機器のメーカーとユーザーを繋ぐ見学と座談会」

プログラム

13:05-14:00 アンテナ技術を中心とした見学と説明

14:10-15:00 日経BPによるGaNデバイスのお話

15:00-16:30 座談会

2023年（令和5年）11月6日（月） - 12月30日（土）

令和6年度理事候補者推薦受付

2023年（令和5年）11月7日（火）

会議名称：JSTさきがけ「電子やイオン等の能動的制御と反応」領域 オンライン公開 協賛承諾

開催日時：2024年1月6日（土） 13:00～18:00

開催場所：オンライン（Zoom Webinar）

主催団体：国立研究開発法人 科学技術振興機構

2023年（令和5年）11月8日（水） - 12月30日（土）

第10回JEMEA進歩賞 受賞候補者募集

第6回JEMEA学会賞/第2回学術功績賞/第2回功労賞 受賞候補者募集

2023年（令和5年）11月17日（金） 学術基礎ワーキンググループ 第3回WEB討議（参加者13人）

【トピック】 $\tan \delta$  と  $\epsilon''$ 、ものを温める指標は？

【課題1：運動の表記】偏角の計算例

【課題2：誘電率測定】屈折率について

【課題3：熱力学解析】仮定に従った結果の予測

2023年（令和5年）12月15日（木）

編集委員会より「JEMEA Web 論文誌第7巻」（JEMEA会員限定）JEMEAホームページ

およびJ-STAGEで発表

2023年（令和5年）12月25日（月）JEMEAシンポジウム関連Award 3賞と、「企業賞」2件の

受賞者発表

「研究奨励賞」1名(敬称略)

1 B13

ゼオライト内の重金属カチオンのマイクロ波による原子レベル選択加熱挙動

Behavior of microwave atomic scale selective heating of heavy metal cations in zeolites

○石橋涼、岸本史直、脇原徹、高鍋和広 (東京大学)

「ベストプレゼンテーション賞」(2名)(敬称略) 掲載は発表番号順で、順位ではなし

1A02

セルロースのマイクロ波熱分解における水蒸気添加と生成ガスへの影響

Effect of steam feeding on gas production in microwave pyrolysis of cellulose

○田宮裕之<sup>a</sup>、向井啓祐<sup>a</sup>、高山定次<sup>b</sup>、八木重郎<sup>a</sup> (a京都大学、b核融合科学研究所)

2B01

円偏波マイクロ波を用いる絶対不斉合成の試み

Trial of Absolute Asymmetric Synthesis with Circularly Polarized Microwave

○横山晴輝、山田徹 (慶應義塾大学)

「ベストポスター賞」(1名)(敬称略)

P18

リーズナブルなベクトルネットワークアナライザを利用した複素誘電率測定

Complex Permittivity Measurement Using Reasonable Vector Network Analyzer

○川嶋日菜子<sup>a</sup>、吉富紗香<sup>a</sup>、馬場龍之介<sup>b</sup>、杉山順一<sup>c</sup>、越村匡博<sup>a</sup>、大内将吉<sup>b</sup> (a佐世保高専、  
b九州工業大学、c産総研)

「安立計器株式会社賞」(1名)(敬称略)

P05

マイクロ波加熱による酸化タングステンの水素還元

Hydrogen reduction of tungsten oxide by microwave heating

○藤原 アレックス偉智朗<sup>a</sup>、昆竜矢<sup>b</sup>、大野光一郎<sup>b</sup>、劉家占<sup>b</sup> (a福岡県立宗像高等学校、b九州  
大学)

「エム・アールエフ株式会社賞」(1名)(敬称略)

1A06

マイクロ波によるW/Oエマルションの局所温度評価

microwave-assisted selective heating of W/O emulsions

○竹下奈津美a、椿俊太郎a、杉山武晴b、井倉則之a、（a九州大学大学院、b九州大学シンクロトロン光利用研究センター）

2023年（令和5年）12月29日（金）

所得税納税

2024/01/19（金） 学術基礎ワーキンググループ第4回WEB討議（参加者20人）

【トピック1：物性と複素数】 物性はなぜ複素数で表されるのか

【トピック2：電界による損失】 導電損失と誘電損失の違いはなにか

2024年（令和6年）1月26日（金） 第17回 日本電磁波エネルギー応用学会研究会  
－電磁波を利用した合成と分解－

【共催】 甲南大学・非電離放射線生体環境総合研究所

JEMEA 生体影響と安全利用ワーキンググループ

（協賛） IEEE MTT-S Japan, Kansai Nagoya Chapter、公益社団法人 高分子学会、  
一般社団法人触媒学会、一般社団法人日本エレクトロヒートセンター、  
一般社団法人日本ゴム協会、一般社団法人 日本食品機械工業会、  
公益社団法人日本水産学会、一般社団法人 日本鉄鋼協会、  
公益社団法人 有機合成化学協会

開催場所：オンライン

【参加人数】 研究会43名（講師4名含む）、うちJEMEA非会員6名）+ポスター発表のみ参加8名

（うちJEMEA非会員6名）

【プログラム】

1.ポスター発表

2.「マイクロ波照射による金属有機構造体の作製」 鶴岡 孝章 様(甲南大学)3

3.「加速が切り拓く未来～企業、研究所、大学の合成装置に関する最新事例をご紹介～」

大木 裕太 様(東京理化器械(株))

4.企業紹介

【マイルストーンゼネラル株式会社 様】

【マイクロ電子株式会社 様】

【山本ビニター株式会社 様】

【株式会社サイダ・FDS様】

5. 「マイクロ波で風力発電ブレードの分解に挑戦！～各種マイクロ波装置を用いた強化プラスチックの分解リサイクル～」 池永 和敏 様(崇城大学)
6. 「解き明かせなかった3つの不思議」 山田 徹 様(慶應義塾大学)

2024年（令和6年）2月15日（木）「JEMEA Web機関紙第9巻第1号(JEMEA会員限定）」 JEMEA  
ホームページおよびJ-STAGEで発表

2024年（令和6年）3月1日(金)

特定非営利活動法人日本電磁波エネルギー応用学会 令和5年度第4回理事会

開催場所：オンライン

2024年（令和6年）3月13日（水）

令和6年度シニア年会費適応希望者連絡受付開始

2024年（令和6年）3月13日（月）

3月31日締切 令和6年度の「事業計画と予算書」「令和6年度新任・再任理事・監事候補者」

ご確認と会員投票のお願い開始

会員過半数を11票上回る111名の承認を得て、「事業計画」成立。理事・監事候補者を総会に諮ることが決定。

2024（令和6年）3月15日（金） 学術基礎ワーキンググループ 第5回資料のみ配布

2024年（令和6年）3月 17日（金）

特定非営利活動法人日本電磁波エネルギー応用学会 令和5年度第5回理事会

場所：メール審議形式

2024年（令和6年）3月31日の会員数（3/31付退会希望者を除いた人数）

正会員（個人）：135名、正会員（団体）25社(29口)、学生24名

合計184名

2024年（令和6年）5月24日「令和5年度定期総会」時点の会員数

正会員（個人）：134名、正会員（団体）24社(28口)、学生22名、休会2（団体1，個人1）

合計182名（5月23日17時現在）

総会出席者 総会本人出席 34名、委任状 71名=105名

定足数93を12票上回り総会が成立（5月23日17時）—当日変更があったら口頭発表定

（メールで連絡が取れない3人を除いて定足数算出）

以上